

臨海副都心有明北地区の土地利用計画等の見直し（案）について

見直しの背景

臨海副都心有明北地区では、臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン及び臨海副都心有明北地区まちづくりガイドライン（以下「ガイドライン等」という。）に基づき、住宅を中心とした複合市街地として開発を進めてきた。

また、本地区では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において数多くの競技が実施された。本地区を取り巻く状況の変化を踏まえ、ガイドライン等の一部改定を行う。

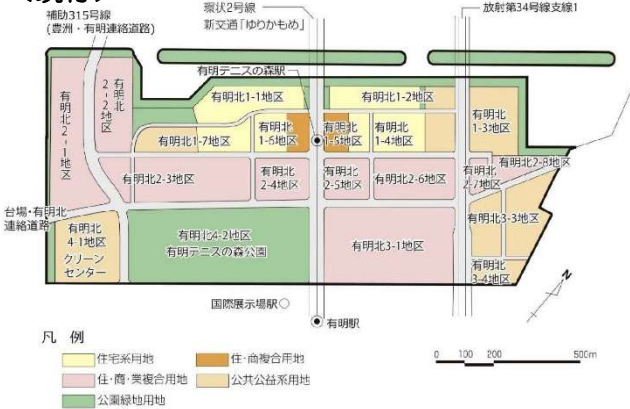
主な見直しの内容

まちの将来像

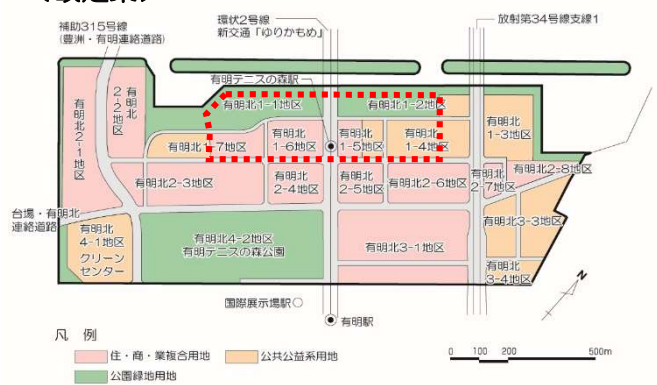
東京2020大会のレガシーをはじめとした多様な機能の集積により、魅力的なライフスタイルを楽しめる複合市街地

■土地利用計画

<現行>



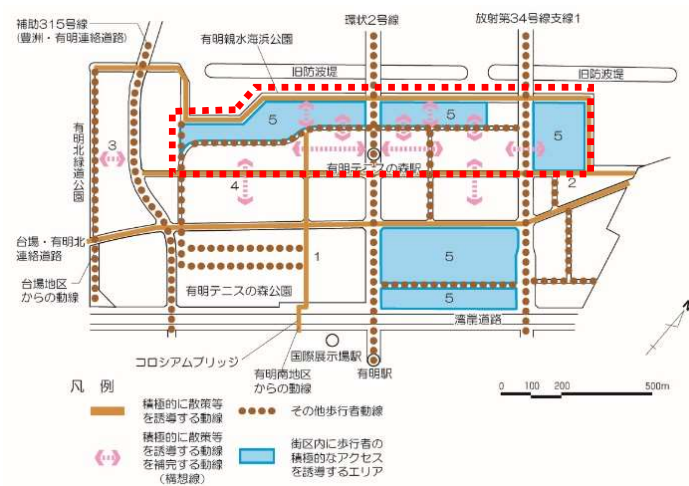
<改定案>



変更区域

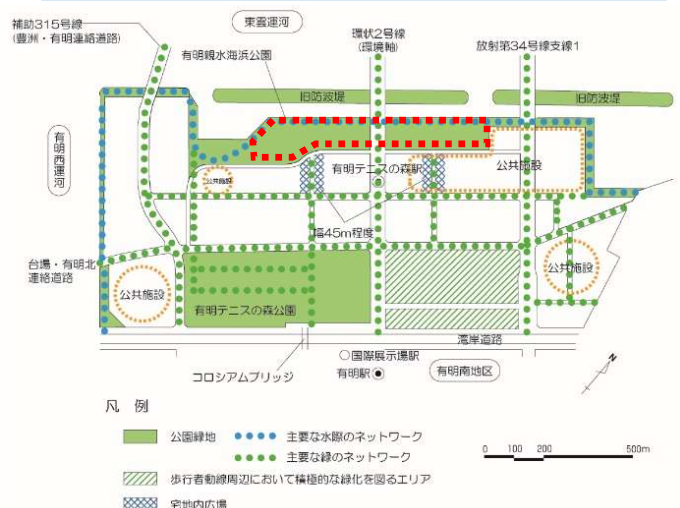
- 1-1地区、1-2地区 : 住宅系用地 から 公園緑地用地へ変更
- 1-5地区西側、1-6地区、1-7地区東側 : 住宅系用地、住・商複合用地 から 住・商・業複合用地へ変更
- 1-4地区西側、1-5地区東側 : 住宅系用地 から 公共公益系用地へ変更

■歩行者ネットワーク



- 内 <=> : 歩行者動線を補完する動線（構想線）の設定

■水と緑のネットワーク



- 内 : 有明親水海浜公園公園緑地用地拡張